

平成30年度 予算特集号

広報
Ako City
Public
Relations



2018
Special Number
平成30年4月10日発行



「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して

- 平成30年度当初予算総額 553億2,534万円 P 2~3
- 平成30年度一般会計当初予算総額 245億1,000万円 P 4~5
市民ひとりあたりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策 P 6~15
- 写真でみる予算 P 16

平成30年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案をはじめとする諸議案が成立しました。2月22日に明石市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の概要と予算のあらましについてお知らせします。

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して

平成30年度当初予算額
553億2,534万円

●各会計別予算額

会計区分	平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	前年度比(%)	
一般会計	245億1,000万円	220億6,700万円	11.1	
特別会計	国民健康保険事業	53億3,000万円	64億8,900万円	△17.9
	職員退職手当管理	5億3,610万円	5億140万円	6.9
	公共下水道事業	-	38億1,870万円	皆減
	農業集落排水事業	-	2億9,290万円	皆減
	墓地公園整備事業	980万円	1,080万円	△9.3
	介護保険	42億6,420万円	44億7,260万円	△4.7
	駐車場事業	1億3,780万円	1億3,840万円	△0.4
	後期高齢者医療保険	7億3,420万円	7億70万円	4.8
	小計	110億1,210万円	164億2,450万円	△33.0
	企業会計	病院事業	119億4,567万円	123億3,732万円
介護老人保健施設事業		4億2,030万円	3億7,317万円	12.6
水道事業		19億5,568万円	19億2,597万円	1.5
下水道事業		54億8,159万円	-	皆増
小計		198億324万円	146億3,646万円	35.3
合計	553億2,534万円	531億2,796万円	4.1	

バスツアーなど赤穂を体験していただける機会を設けるとともに、転入者定住支援金を拡充することにより、移住・定住支援の充実を図ります。

また、あこう元禄「じお」回廊や赤穂ふれあいの森の遊歩道を整備し、観光ルートとして有効活用するほか、日本遺産の認定に向けた取り組みや赤穂ワールドロンサイン設置などにより、本

市の観光資源の有効活用とPRに努めます。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえます

進行する少子化に歯止めをかけるためには、結婚・出産・子育てについて切れ目のない支援を行うなど、安心して子どもを産み育てる環境を整備することが必要です。

そこで、出産前の妊婦や

そのパートナーなどに必要な知識、技術を学んでいた「プレママ・プレパパ」を新たに実施するほか、第3子いきいき子育て応援事業や赤穂すこやかセンターでの乳幼児一時預かり事業を継続実施します。また、公立幼稚園における3歳児保育を塩屋幼稚園で試行するなど、子ども・子育て支援の更なる充実を図ります。

安心なくらしを守り、地域と地域を連携します

地域のにぎわいを創出し、安心なくらしを守っていくためには、広域による連携を充実するとともに、市内の地域間でお互いに交流しやすい環境を作るなど、地域連携によるまちづくりに取り組んでいくことが必要です。

このため、東備西播定住自立圏共生ビジョンや播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに基づいて、定住相談会やル・ボン国際音楽祭などの事業を実施し、広域連携を推進するとともに、関西福祉大学との連携については、今後は、学生など大学を一つの地域資源と捉え、



また、赤穂市空家等対策計画に基づき、空き家を活用するための改修費助成を新たに設けるなど、総合的な空き家対策を推進するほか、赤穂市地域防災計画に基づき、防災備蓄倉庫や備蓄物資の整備、耐震性防火水槽の設置など、防災・消防施設の充実強化を図ります。



私が市長に就任してから3年余りが経過し、1期目の仕上げの年を迎えました。この間、議員各位をはじめ多くの市民の皆さまのご支援をいただきながら、この赤穂をさらに元気で魅力的なまちとして子どもたちに受け継いでいくため、全力を傾注してきました。

特に、「少子高齢化・人口減少社会に対応するまちづくり」、「にぎわいと活力のあるまちづくり」、「安全・安心に生活できるまちづくり」を基本に、時代の変化に即応し、スピード感をもった行政を推進するとともに、市民の皆さまとの対話を通じて開かれた市政を積極的に推進するため、まちづくり市長懇談会を開催するなど、市民本位の市政運営に取り組んでいくところです。

さて、厚生労働省が実施する人口動態統計の年間推計におきまして、平成29年のわが国の出生数が2年連続で100万人を割り込み、人口の自然減は平成19年から11年連続となりました。さらに総務省が実施する人口移動報告により、兵庫県において平成29年の転出超過が全国ワースト2位になるなど、地方都市における人口減少に歯止めがかからず、東京圏への一極集中が一層進み、国や地方はともに種々の対策を進めていますが、その特効薬がないのが現状です。

少子高齢化が進行し人口が減少する状況においても、活力を保ち、将来への希望が持てる地域づくりを推し進めていくためには、ふるさと赤穂への思いを胸に、解決すべき多くの課題にはより多くの知恵をもって、果敢にチャレンジしていく必要があります。

そのため、今後の市政運営にあたっては、「信念と情熱」「誠実と信頼」「創造と改革」を信条に、より多くの市

民の皆さまとの対話を通して、ともに知恵を出し合いながら、目指す都市像である「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて、「赤穂市総合戦略」に掲げる次の4つの基本目標に基づき、施策の展開を図ってまいります。

安定した雇用を創出します

若年層を中心とした転出者を減少させ、定住人口の増加を目指すためには、市内での就業機会を拡大し、安定した雇用を確保することが必要です。

そこで、子育て支援に関する情報提供の充実を図り、女性の再就職を促進するほか、地場農林水産物の販売・加工の拠点整備を支援する農林水産物直売所設置支援事業などにより、幅広いニーズに対応した就業支援に取り組めます。

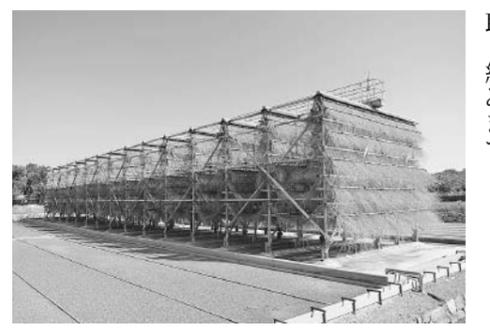
また、赤穂の塩の知名度向上と販路開拓を図るため、塩を盛った枡を杯に使う古来より伝わる粋な日本酒の飲み方を甦らせ、新たな塩

人の流れを生み出す取り組みにつなげていきます。

さらに、有年地区における「デマンドタクシー」「ゆねのり愛号」の乗降場所を拡大するなど、利便性の向上を図るとともに、市内循環バス「ゆらのすけ」等を継続して運行するなど、地域間における交通手段の確保に努めます。

また、赤穂市空家等対策計画に基づき、空き家を活用するための改修費助成を新たに設けるなど、総合的な空き家対策を推進するほか、赤穂市地域防災計画に基づき、防災備蓄倉庫や備蓄物資の整備、耐震性防火水槽の設置など、防災・消防施設の充実強化を図ります。

新しいひとの流れをつくります



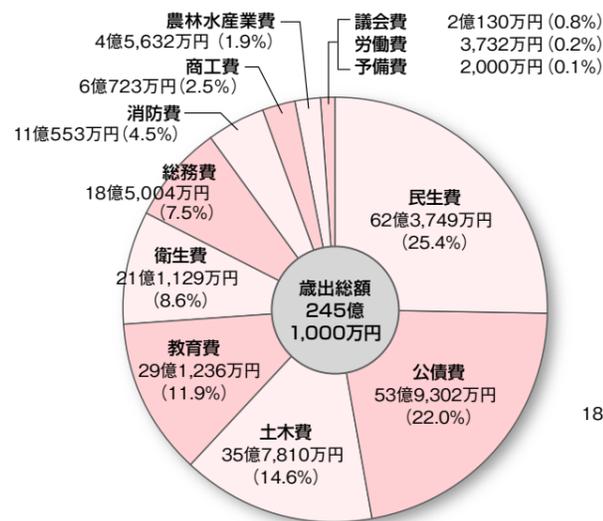
人口の減少を緩和し、地域の活力を維持していくためには、本市へ移住・定住を希望する方々や観光で訪れる方々に対する支援・受入体制を整備し、定住及び交流人口の増加につなげていくことが必要です。

そこで、引き続きお試し暮らし住宅事業や移住体験

の可能性を引き出し、全国に広めるしおブランド化推進事業や、赤穂産品の高付加価値化を目指した赤穂ブランド推進事業などにより、地域産業の競争力強化等に取り組みます。

歳出 >>>

歳入面では、地方創生への取り組みを総合的に推進するため、赤穂市総合戦略に掲げる各種施策・事業などに重点的に取り組み、未来への投資が着実に根付くよう限られた財源の重点的・効率的な配分により、後年度を見据えた財政健全性の確保に努めるとともに、総合計画に掲げる『人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち』の実現に向けて、地域活力の回復を図り、誰もが希望と誇りを持って住み続けたいと思えるまちづくりを推し進めるための予算編成としました。

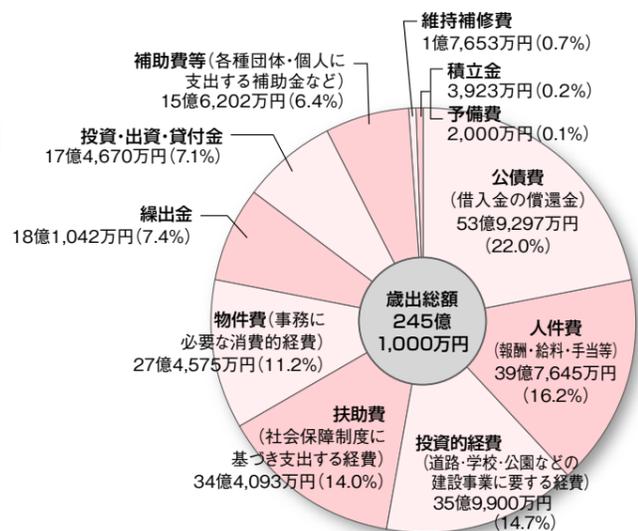


目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



歳入 >>>

歳入面では、地方消費税交付金の増収が見込まれるものの、固定資産税の評価替え等に伴う市税収入の減に加え、地方交付税の減収等により、一般財源の伸びが見込めないなど、非常に厳しい状況であり、財政調整基金や健康管理施設整備基金などの基金から8億7,100万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

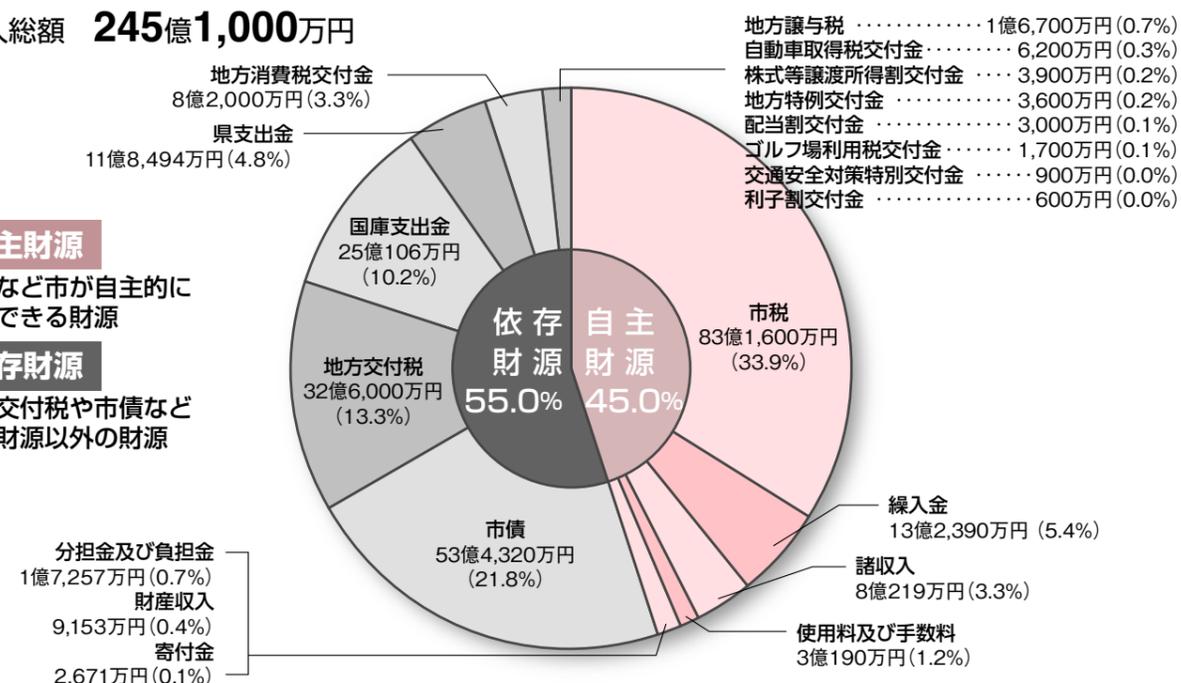
歳入総額 **245億1,000万円**

自主財源

市税など市が自主的に収入できる財源

依存財源

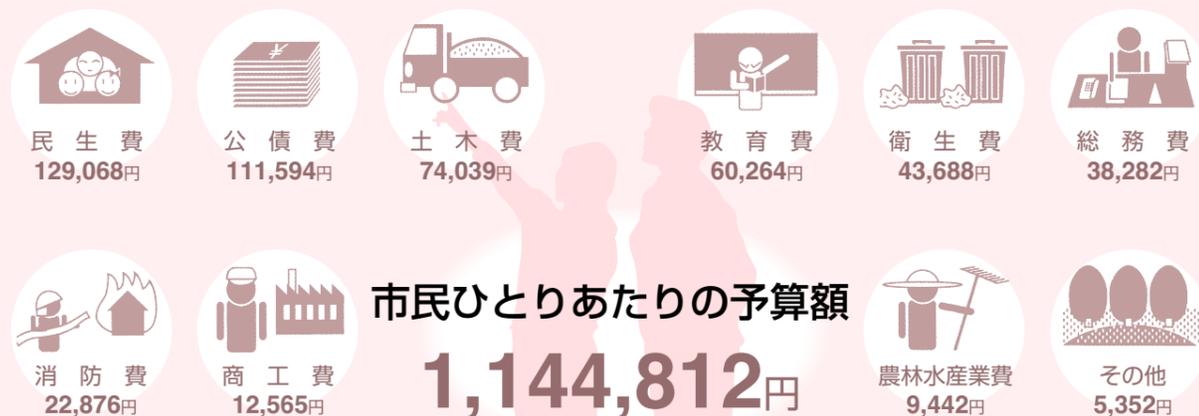
地方交付税や市債など自主財源以外の財源



245億1,000万円

平成30年度 一般会計予算

一般会計 **507,170円**

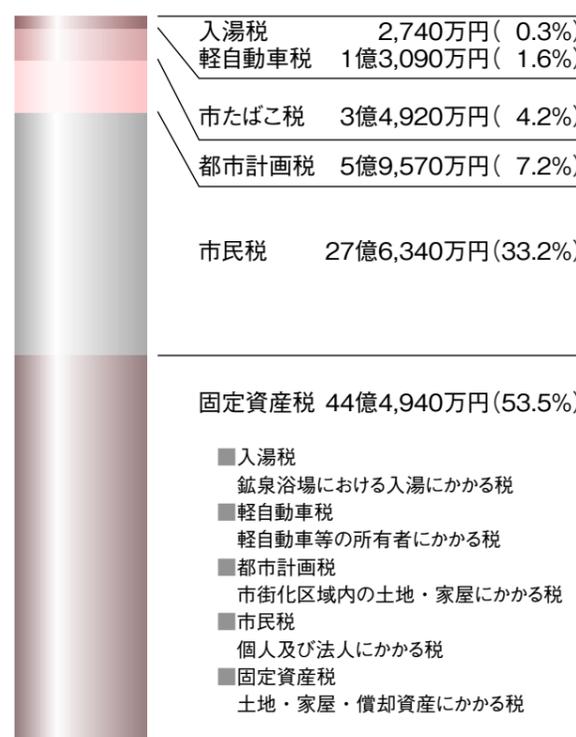


特別会計・企業会計(抜粋) **637,642円**

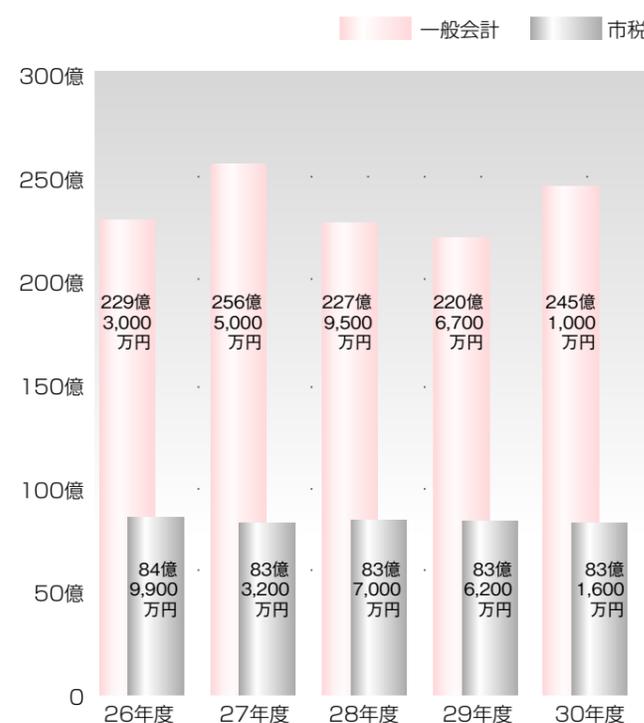


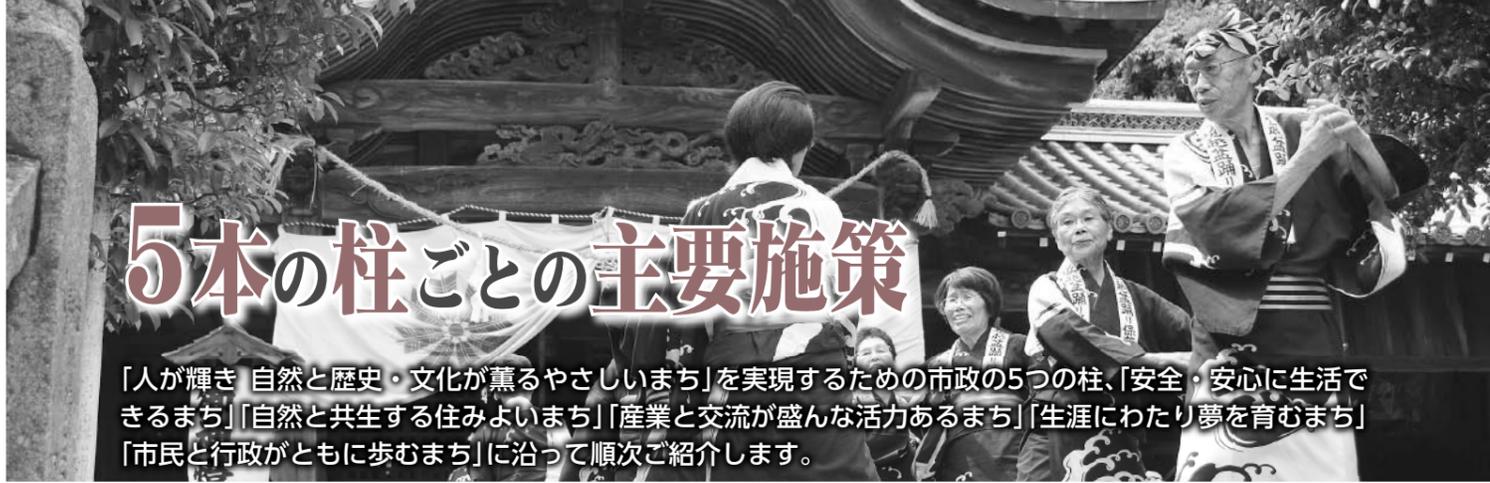
(平成30年2月末現在の人口48,327人で計算したものです)

市税の内訳 総額83億1,600万円



年度別当初予算額と市税の推移





5本の柱ごとの主要施策

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を実現するための市政の5つの柱、「安全・安心に生活できるまち」「自然と共生する住みよいまち」「産業と交流が盛んな活力あるまち」「生涯にわたり夢を育むまち」「市民と行政がともに歩むまち」に沿って順次ご紹介いたします。

第1の柱

安全・安心に生活できるまちづくり

おもいやりに満ちた福祉社会の構築

少子高齢化が急速に進展する中、市民が安心して暮らせるユニバーサル社会の実現に向け、すべての人にやさしいまちづくりを進めることが求められています。そのため赤穂市地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会等関係機関との連携を深め、地域で相互に助け合う地域福祉活動を推進します。

また、人にやさしい福祉のまちづくりを推進するため、引き続き市道の段差解消や赤穂城跡公園内の園路改修などを実施するほか、施設のバリアフリー化を図るため歴史博物館のエレベーターを整備し、来館者の利便性向上に取り組みます。児童福祉については、赤

穂市子ども・子育て支援事業計画に基づき、次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進していく必要があります。そこで、有年アフタースクールを新設するとともに、引き続き延長保育や一時預かり事業などを実施します。

また、子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第3子いきいき子育て応援事業やチャイルドシート及び幼児2人同乗用自転車購入費助成をはじめ、中学生第3子手当支給事業を継続実施するほか、保育所や幼稚園等の保育料を軽減します。

母子家庭等への支援策としては、高等職業訓練促進給付や高等学校卒業程度認定試験の合格支援を実施するなど、引き続き就業支援を行います。

障がい者福祉については、平成30年度を始期とする赤穂市障がい者福祉長期計画に基づき、引き続き介護給付や訓練等給付などの障がい福祉サービスの提供を行います。また、障がいのあ



る人の自立支援を図るため、地域生活支援事業として地域活動支援センターへの事業補助や基幹相談支援センターの設置を継続するほか、手話及びろう者への理解の促進と手話の普及を図るため、新たに赤穂市みんなの和を広げる手話言語条例」を制定し、正規職員を配置するとともに、意思疎通支援事業や手話奉仕員養成研修事業などを実施します。

高齢者福祉については、高齢者等が住み慣れた地域で健康な生活を続けていけるよう、介護支援事業を推進するほか、利用者からの暴力等を防止することで介護人材の確保を図る、訪問看護師・介護員安全確保離

施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

としての役割を果たします。生活困窮者対策としては、引き続き一時生活支援事業や食料等支援事業を実施し、自立に向けた支援を行います。

人権文化の創造については、赤穂市人権教育・啓発基本計画に基づき、あらゆる差別や人権問題を解消するための教育・啓発活動に取り組み、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重することのできる社会の構築に努めます。

保健・医療サービスの充実

健康づくりの推進体制については、市民の生活習慣病予防とともに、健康寿命の延伸に向けた具体的な目標を定めた第3次赤穂市健康増進計画に基づき、健康への意識啓発を行うなど、生涯にわたる健康づくりを推進します。このため、生活習慣病予防を目的とする特定健康診査や、胃がんをはじめ各種のがん検診を行うほか、必要な人には積極的支援・動機づけ支援などの保健指導を継続して実施



します。

女性のがん検診については、特定年齢層への無料クーポン券の配布に加え、未利用者への受診勧奨を行うなど、引き続き受診率の向上に努めます。

また、育児健康支援事業として、妊婦やそのパートナーなどに出産準備や子育ての知識、技術を習得していただくプレママ・プレパパクラスや、産後の母子に對して支援を行う産後ケア事業を新たに実施するほか、赤穂すこやかセンターに子育て世代包括支援センターを新設し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供します。病院事業については、今

後ますます高齢化が進む中、急性期病棟から在宅や施設への復帰に向けた支援を行う、地域包括ケア病棟の円滑な運営を図るほか、住み慣れたわが家で安心して療養生活を送っていたただけるよう、訪問看護ステーションによる在宅医療を実施します。

また、第二期基本構想に基づき新棟の増築及び本館改修工事が完了したことから、これら施設・設備を有効に活用していくほか、診療報酬の改定にも適切に対応し、経営の効率化に努めます。

依然として、医師不足や診療科による医師の偏在があります。地域の中核病院として診療体制の一層の充実に向けて取り組みます。

介護老人保健施設については、介護支援システムを活用したケアマネジメントの充実により利用者の確保を図り、在宅復帰を支援する施設としての役割を果たせるよう努めます。

生活の安全・安心の確保

台風や地震などの自然災害をはじめ、北朝鮮のミサイル発射、高齢者のための交通安全対策、複雑化する消費者問題など、市民の安全・安心に対する関心は一段と高まっています。

そのため、更なる防災行動力の向上を目指し、地域の皆さまを中心とした自主防災組織による防災総合訓練やコミュニケーション防災訓練を継続実施します。さらに、全国瞬時警報システム（Jアラート）の受信機を新

型に更新するとともに、災害時における避難所機能を確保するため、引き続き主要避難所である小学校などに防災備蓄倉庫を設置します。

また、地震対策として、簡易耐震診断や耐震改修、住宅建替工事などの事業補助を継続実施し、住宅の耐震化を推進します。

消防体制の充実強化については、防災センター機能をも併せ持つ消防庁舎の設備改修や耐震性防火水槽の整



備などを行うほか、非常備消防体制については、第12分団消防ポンプ自動車の更新及び第14分団詰所の移転新築工事を実施します。また、団員の活動環境の整備と安全確保に必要な装備品の充実を図ります。

次に、交通安全対策については、危険箇所や通学路を中心に、防護柵やカーブミラーなど交通安全施設の整備を進めます。

防犯対策については、LED照明による公共灯の設置を促進するとともに、子どもたちの安全確保のため、引き続きスクールガードリーダーの配置などを行います。

消費者対策としては、引き続き消費生活センターによる相談や啓発の充実に努めるほか、消費者協会と連携し、啓発講演会の開催など消費生活向上に向けた活動を推進します。



自然と共生するまちの形成
赤穂の誇る豊かな自然環境や良好な生活環境を次代に継承するため、市民、事業者、行政が一体となって、持続可能な環境づくりに自主的・積極的に取り組むことが必要です。

自然環境の整備については、林野火災で失った森林の機能を回復させる補植のほか、赤穂ふれあいの森などの遊歩道整備を実施します。

地球温暖化対策については、住宅用太陽光発電システム設置費用や自治会管理外灯LED化費用に係る助成を継続実施するとともに、民間における再生可能エネルギー発電設備の設置の際には、自然環境等との

また、空き家対策については、危険空き家除却への費用補助に加え、空き家を活用するための改修費助成の創設や、空き家管理をふると納税の返礼品に加え、赤穂市空家等対策



魅力ある都市空間の形成
住環境の整備については、引き続き尾崎地区及び塩屋地区において、密集住宅市街地整備促進事業などを実施し、防災性と住環境の向上に努めます。

公営住宅の環境整備としては、赤穂市営住宅長寿命化計画に基づき、塩屋団地の施設整備工事を継続実施します。

都市環境の整備については、新たに「さくらの名所復活大作戦」として、都市公園への植樹について企業等のボランティアを募集するほか、野中・砂子公園の整備や第4種公認に向けた赤穂城南緑地陸上競技場整備などに取り組めます。

また、都市再生整備事業については、JR坂越駅前を整備した駐車場及びレンタサイクル施設を供用開始するとともに、引き続きJR有年駅周辺において、道路整備とあわせ、駅周辺施設の整備を進めます。

第2の柱 自然と共生する 住みよい まちづくり

生活環境の整備については、大気や水質等に関する環境調査の充実を図り、積極的に情報提供や啓発活動を行います。なお、市内の産業廃棄物最終処分場建設計画については、その動向を注視し、適切に対応します。

調和を図っていただくなど、低炭素社会に向けた取り組みを推進します。

ごみリサイクル推進については、引き続き資源ごみ回収団体への助成や生ごみ処理機等の購入助成を行うなど、ごみ減量・資源化に努めるとともに、ごみ処理施設については、適正な整備により長寿命化を図ります。

計画に基づき快適な住環境づくりに取り組めます。

水道事業については、老朽化した管路の改良や配水施設の更新、北野中浄水場の耐震補強に取り組むとともに、水質安全対策として木津水源地に紫外線処理設備を導入するなど、引き続き安全でおいしい水の安定供給に努めます。



質の高い都市機能の整備
土地利用については、まちづくりの課題に対応するため、特別指定区域制度の活用に向けた土地利用計画の見直し等を検討します。

土地区画整理事業については、有年地区、野中・砂子地区及び浜市地区において、区画道路築造工事など事業の進捗を図ります。

安全・安心に生活できるまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

おもいやりで満ちた福祉社会を築く

①みんなで支え合う地域福祉を進める

- ・地域総合援護システム推進事業 ……164万円
- ・総合福祉会館整備事業 ……1,530万円
- ・福祉のまちづくり推進事業 ……2,500万円

②子育てしやすい環境をつくる

- ・アフタースクール子ども育成事業 ……4,320万円
- ★アフタースクール整備事業(新設(有年小)) ……370万円
- ★こども食堂運営補助事業(開設、運営団体への補助) ……45万円
- ・第3子いきいき子育て応援事業 ……593万円
- ・中学生第3子手当支給事業 ……305万円

③障がい者が自立しやすい環境をつくる

- ・障害者地域生活支援事業 ……6,360万円
- ▷基幹相談支援センター等機能強化事業
- ★意思疎通支援事業 ▷日常生活用具給付等事業 ▷地域活動支援センター ▷手話奉仕員養成研修事業ほか

④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる

- ★訪問看護師・介護員安全確保離職防止対策事業 ……7万円
- ・介護老人保健施設事業 ……3億2,775万円
- ・介護保険事業
- ▷介護保険給付サービス ……39億3,570万円
- ▷地域支援事業 ……2億3,148万円

⑤社会保障制度を適切に運営する

- ・被保護者就労支援事業 ……279万円
- ・生活困窮者自立支援事業 ……402万円
- ・生活困窮者支援事業 ……32万円

⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる

- ・隣保館事業 ……241万円
- ▷教室開設ほか(176万円)
- ▷備品整備ほか(65万円)
- ・人権啓発事業 ……136万円

保健・医療サービスを充実する

①生涯にわたる健康づくりを進める

- ★子育て世代包括支援センター運営事業 ……290万円

- ・育児健康支援事業 ……283万円
- ★プレママ・プレパパクラス
- ★産後ケア事業ほか
- ★もの忘れチェック事業 ……15万円

②安心できる地域医療体制をつくる

- ・救急医療情報システム事業負担金 ……74万円
- ▷兵庫県広域災害救急医療情報システム運営(37万円)
- ★小児救急医療電話相談(38万円)
- ・市民病院整備事業 ……3億2,914万円

生活の安全・安心を確保する

①災害に強いまちをつくる

- ・耐震改修促進事業 ……1,078万円
- ★御崎地区公有水面施設整備事業 ……300万円
- ★全国瞬時警報システム受信設備整備事業 ……300万円

②消防・救急救助体制を充実する

- ・ジュニア救急教室開催経費 ……139万円
- ★新たに上郡消防署でも実施
- ・消防施設整備事業 ……6,100万円
- ★消防団詰所整備(第14分団詰所移転新築工事)

③交通安全・防犯意識を高める

- ・交通安全対策推進費 ……54万円
- ・交通安全施設等整備事業 ……920万円

④消費生活の安全を守る

- ・消費者行政活性化事業 ……533万円



**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

などの農業基盤の維持管理や農村環境の保全活動を支援します。

また、有害鳥獣対策については、猟友会との連携による鹿や猪などの野生動物の捕獲駆除のほか、鳥獣被害防護柵設置費に対する支援などを引き続き実施します。

施設整備としては、防災減災対策としてため池などの総合整備をはじめ、施設の長寿命化を図るため赤穂用水路や高野排水路などの基幹水利施設を整備するほか、樋門整備を実施します。

漁業振興安定対策については、アサリの種苗放流や漁業共済掛金助成のほか、漁港の適正管理に努めます。

また、漁業の持続的かつ安定的な発展と地域活性化の更なる推進のため、漁業関係者等と連携しながら水産振興に取り組みます。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会やJR、関係団体、近隣市町とも連携してPR活動を行うとともに、外国語パンフレットや観光情報システムなど

就労環境の整備については、高年齢者就業機会確保事業への助成などを行い、勤労者福祉の増進に努めます。

多様な交流の推進
広域連携については、東備西播定住自立圏形成推進



多様な方法により情報発信を行います。さらに、赤穂の魅力を発信する赤穂かきまつりなどのイベントに対して引き続き支援を行います。

また、「忠臣蔵」を題材としたNHK大河ドラマの誘致については、引き続き要望活動を行うとともに、グッズの作成により機運醸成を図るなど、実現に向けて取り組みます。

協議会や播磨圏域連携中核都市圏をはじめ、西播磨市町長会、兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会を通じて、近隣市町村との連携を推進します。

地域間交流については、笠間市及び山鹿市とのスポーツや文化活動などを通じた姉妹都市交流をはじめ、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を引き続き推進します。

国際理解の推進については、国際交流協会と連携して訪問団受け入れなど、ロッキングハム市との交流を深めるとともに、グローバル化教育の一環として、A.L.Tによる国際理解教育や国際理解サポーターの派遣を継続実施するほか、アートマイル推進事業を充実するなど、地域の国際化に努めます。

定住支援については、お試し暮らし住宅を改修し、快適に赤穂での生活を体験していただく環境を整備するとともに、転入支援を単身世帯に拡大するなど、転入への動機づけとなるよう

国際理解の推進については、国際交流協会と連携して訪問団受け入れなど、ロッキングハム市との交流を深めるとともに、グローバル化教育の一環として、A.L.Tによる国際理解教育や国際理解サポーターの派遣を継続実施するほか、アートマイル推進事業を充実するなど、地域の国際化に努めます。

定住支援については、お試し暮らし住宅を改修し、快適に赤穂での生活を体験していただく環境を整備するとともに、転入支援を単身世帯に拡大するなど、転入への動機づけとなるよう



転入者定住支援金制度を見直し、本市への移住・定住の促進と市内経済の活性化に努めます。

公共交通の確保と利便性の向上については、デマンドタクシー「うね・のり愛号」に係る乗降場所の拡大や運行便数の改正により、利用しやすく見直すとともに、市内循環バス「ゆらのすけ」や圏域バス「ていじゅうろう」を継続実施し、地域の実情にあった交通体系を確保します。

生活道路の整備については、塩屋野中線や御崎加里屋線の歩道改良事業のほか、赤穂市橋梁長寿命化修繕計画に基づく城南橋などの橋梁修繕、舗装修繕工事

都市計画道路の整備としては、赤穂大橋線に係る用地買収や物件移転補償など事業の推進を図ります。

また、国道2号や国道250号など広域幹線道路の整備促進及び事業化については、関係自治体との連携を図りながら、引き続き国、県に要望を行うほか、国道250号トンネル化の要望のため、高取峠における交通量等の現況調査を実施します。

自然と共生する住みよいまち

★印=新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

自然と共生するまちをつくる

- ①豊かな自然環境を保全する
 - ★森林・山村保全管理事業 ……16万円
 - ・赤穂ふれあいの森整備事業 ……480万円
 - ★木橋修繕、遊歩道保育ほか
 - ★林道施設整備事業 ……100万円

②さわやかな生活環境を保全する

- ・環境基本計画推進事業 ……202万円
- ★市有墓地整備事業 ……310万円
- ・下水道の整備 ……7億9,705万円
- ▷汚水管渠整備(浜市土地区画整理地区ほか)
- ▷雨水渠整備(有年土地区画整理地区ほか)
- ▷ポンプ場建設改良事業(坂越ポンプ場整備工事ほか)
- ▷処理場建設改良事業(赤穂下水管理センター水処理施設更新工事ほか)

③地球環境にやさしいまちをつくる

- ・住宅用太陽エネルギー利用機器設置補助事業 ……550万円
- ・ごみ処理広域化事業 ……203万円

魅力ある都市空間を形成する

- ①快適な住環境をつくる
 - ・空家等対策事業 ……1,457万円
 - ★空家活用支援事業補助

- ▷危険空家除却費補助ほか
- ・上水道の整備 ……8億2,634万円

②水とみどり豊かな都市環境をつくる

- ・野中・砂子公園整備事業 ……2億2,110万円
- ・城南緑地施設整備事業 ……1,760万円
- ★施設整備(陸上競技場改修)

③自然・歴史・文化と調和した景観をつくる

- ・快適環境推進事業 ……30万円
- ・坂越景観形成地区施設改修事業 ……25万円

質の高い都市機能を整備する

- ①土地の利活用を適正に進める
 - ・土地利用計画変更事業 ……585万円
 - ★特別指定区域指定経費ほか
 - ・地籍調査事業 ……1,145万円

②良好な市街地の整備を進める

- ★レンタサイクル事業(坂越駅前) ……216万円
- ・土地区画整理事業 ……4億8,910万円
- ▷有年地区(区画道路築造工事ほか2億8,860万円)
- ▷野中・砂子地区(組合補助金ほか1億5,050万円)
- ▷浜市地区(市助成金ほか5,000万円)
- ・有年駅周辺地区都市再生整備事業 ……2億5,828万円

第3の柱

産業と交流が盛んな活力のあるまちづくり

活力ある産業の形成

地域産業の振興と雇用の場を確保するため、企業の本社機能立地支援のほか、工場立地促進条例に基づく立地企業への支援の継続などにより、企業誘致を推進するとともに、住宅リフォーム助成の継続実施や新規学卒者雇用奨励金交付事業により、市内産業の活性化及び雇用促進を図ります。

商業振興については、中心市街地にぎわいづくり事業を継続実施するとともに、商工会議所等と連携して、赤穂産の牡蠣を使った料理の情報発信事業や赤穂グルメ本発行事業などへの助成を行い、商業の活性化、地域のにぎわいづくりを推進します。

地場産品の活用については、稲作体験農園の設置や6次産業化ネットワーク活



農業振興については、人・農地プランに基づき、農地利用の最適化を促進するため新規就農者や認定農業者等の担い手確保に努めるなど、引き続き地域農業の活性化を推進するほか、農地・水保全管理事業により、地域住民による農地や用水路

動交付金を活用した農林水産物の加工・販売施設に対する支援などにより、地産地消を推進します。また、赤穂の塩を使った梅干しや漬物の販売を行うとともに、新たに開発する枅と塩との連携により塩の更なるブランド化を図るなど、地産外商にも力を入れ、赤穂素・流・人(ソルト)プロジェクト事業を推進します。

**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

さらに、就学援助費における新入学児童・生徒に対する学用品費については、入学年度開始前に支給できるように改め、経済的負担の軽減を図ります。

児童生徒の自主的・主体的な取組を支援する施策としては、中学校生徒会を中心とする生徒交流会の実施や、新学習指導要領に基づき主体的な学習指導を通して、各学校での取り組みの充実を図ります。

また、学習支援教員を配置して個に応じた、きめ細かな指導を行います。



ほか、人権教育・道徳教育の充実に努めるとともに、救急救命や防災教育などを通じて命を大切にすることを進めます。

安全・安心の確保及び若い力の健全育成としては、青少年育成推進委員や学校サポーターチーム及び関西福祉大学をはじめとする関係機関との連携を図りながら、スクールカウンセラーや「心の教室相談員」の配置、スクールソーシャルワーカーの増員による教育相談活動の充実に努めます。

施設整備としては、小・中学校の大規模改造事業やプール改修などの実施により教育環境の改善を図るほか、幼稚園における3歳児

特別支援教育の充実にについては、切れ目のない支援をめざし特別支援教育指導補助員の活用やタブレットを用いた効果的な授業づくりの実践など、障がいの特性に応じたきめ細かで適切な指導を行います。

地域に開かれた学校づくりとしては、特色ある学校づくり推進事業や「トライやる・ウィーク」推進事業、環境体験事業などを通して地域との絆を深め、地域とともにある学校づくりを進めます。

子育て学習活動推進事業については、子育て悩み相談の充実や子育てグループの育成に努めるほか、各地区公民館での子育て出前講座を継続実施します。

施設整備としては、市民会館や地区公民館における設備更新工事や備品整備を計画的に実施し、生涯学習の環境整備を図ります。

図書館については、赤穂市子ども読書活動推進計画に基づき、絵本講座やブックスタート事業などの読書活動事業を実施するほか、電子書籍の充実やブック宅

保育を進めるため、計画的に備品整備を行います。

生涯学習・スポーツ活動の推進

中央公民館や各地区公民館を拠点として、体系的な生涯学習の場を提供していくため、子ども教室などの各種講座を引き続き開催するほか、専門的な知識などを持った「まちの先生」に広く活躍の場を提供することにより、多様な市民ニーズに応えます。



配サービスの実施により、読書環境の整備に努めます。

スポーツ活動の推進については、これまで整備を進めてきました施設を最大限に活かしながら、赤穂市スポーツ推進計画に基づく事業を効率的・効果的に実施し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる活動の場と機会の充実に努めます。

生涯スポーツの推進については、体育協会や関係スポーツ団体と連携しながら、市民総合体育祭や各種スポーツ大会の開催などを支援するほか、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。

個性ある地域文化の創造

歴史資源の保全・整備については、文化財保存整備事業として、引き続き赤穂城跡の二之丸石垣の整備などを行うほか、史跡土地買上げとして、指定地内民有地の取得を進めます。

歴史・伝統文化の保存・活用については、図説赤穂市史の編集や市史史料集の発刊のほか、引き続き獅子

また、スポーツの振興と交流機会の拡大を図るため、忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会、市長旗争奪少年野球大会などを引き続き支援するほか、赤穂シテイマラソン大会や各種県民大会などの広域大会の開催を通じて、スポーツによる元気なまちづくりに取り組みとともに、忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信します。

施設整備としては、2カ

産業と交流が盛んな活力のあるまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

活力ある産業を形成する

- ①地域産業を振興する
 - ・産業活性化支援事業 ……1,318万円
 - ・新規卒者雇用奨励金交付事業 ……602万円
 - ・工場立地促進奨励金交付事業 ……1億2,856万円
- ②商業の振興を図る
 - ・中心市街地にぎわいづくり事業 ……620万円
 - ▷加里屋さんもく楽市事業ほか補助
 - ▷赤穂情報物産館運営事業補助
 - ▷市街地にぎわいづくり助成事業補助
 - ・中小企業経営安定資金融資預託金 ……2億3,000万円
 - ・駐車場事業 ……2,298万円
 - ★坂越駅前駐車場の新設
 - ▷施設整備ほか
- ③地場産品を使った赤穂の魅力を創出する
 - ・農林水産物直売所設置支援事業 ……1,482万円
 - ★6次産業化ネットワーク活動交付金(地元食材を用いたジェラート開発)ほか
 - ・しおブランド化推進事業 ……640万円
 - ★枘との連携による塩プロモーション事業ほか
- ④農業・漁業を活性化
 - ・農地・水保全管理事業 ……5,064万円
 - ・農村地域防災減災事業 ……8,646万円
- ⑤観光の振興を図る
 - ・義士祭奉賛会補助金 ……2,330万円
 - ・観光アクションプログラム推進事業 ……1,460万円
 - ▷観光キャンペーン事業(231万円)
 - ▷観光協会事業補助(469万円)
 - ▷観光イベント等補助(310万円)
 - ▷観光ボランティアガイド育成事業(20万円)
 - ▷観光客おもてなし事業(380万円)
 - ▷J R赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金(50万円)
 - ・観光施設整備事業 ……1,280万円
- ⑥就労環境を充実
 - ・高齢者就業機会確保事業 ……1,316万円

多様な交流を推進する

- ①近隣市町村との広域連携を進める
 - ・定住自立圏構想推進経費 ……520万円
- ②特色ある地域間交流を進める
 - ・義士親善友好都市交流事業 ……207万円
- ③国際理解を深める
 - ・国際交流推進事業 ……147万円
 - ・グローバル化教育推進事業 ……2,114万円
 - ▷外国人講師による英語教育
 - ▷国際理解サポーターの配置
 - ▷アートマイル推進事業
- ④定住を促進
 - ・定住支援推進事業 ……5,120万円
 - ★転入者定住支援金(新たに単身世帯も対象)
 - ▷新婚世帯家賃助成▷若者世帯住宅取得支援金
 - ▷お試し暮らし住宅事業ほか
 - ・東京あこうのつどい開催経費 ……210万円
 - ・お試し暮らし住宅整備事業 ……280万円
 - ★施設整備(トイレ、風呂改修ほか)

交流基盤を整備する

- ①公共交通の利便性を確保
 - ・市内循環バス運行事業 ……1,289万円
 - ・デマンドタクシー運行事業 ……248万円
 - ★停留所の追加
- ②利便性の高い道路網を構築
 - ★広域幹線道路整備促進事業(高取峠現況調査経費) ……250万円
 - ・都市計画街路事業 ……1億740万円
 - ・生活道路整備 ……5億4,740万円

地域情報化を推進する

- ①地域情報化を推進
 - ・高度情報化推進事業 ……1億1,980万円
 - ・情報教育推進事業 ……1億2,393万円

**第4の柱
生涯にわたり
夢を育む
まちづくり**

教育環境の整備

教育環境の整備については、赤穂教育プランに基づき、「夢を育む教育」の創造をめざし、総合的・計画的に推進します。

幼児教育の充実については、幼児を持つ家庭や地域との連携を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細かな教育を推進します。

義務教育の充実については、研修会、校内研修等により教職員の資質と指導力の向上を図り、基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、学力向上をめざす教育活動の充実に努めます。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて勤労観・職業観を醸成し、将来への夢や希望を育むキャリア教育の推進に取り組む

**施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし**

行政情報の提供については、広報あこうや早かごセミナーのほか、SNSによる情報提供を行うなど、様々な情報媒体を有効に活用し、より充実した広報活動を行うことにより、市民の皆さまとの情報の共有化

を深めます。また、まちづくり市長懇談会は市民の皆さまと直接対話をさせていた

たたく貴重な機会と考えていますので、常に望ましいあり方を模索しながら、開かれた市政を推進します。

男女共同参画社会づくりについては、赤穂市男女共同参画社会づくり条例や赤穂市男女共同参画プランに基づき、関係団体との連携を図り、相談業務や講演会等を継続するとともに、全庁的に取り組みます。

第5の柱

**市民と行政が
ともに歩む
まちづくり**

市民との協働

多様なコミュニティ活動の活性化

複雑・多様化する市民ニーズを的確に把握し、地域の諸課題を解決していく

を深めます。また、まちづくり市長懇談会は市民の皆さまと直接対話をさせていた

たたく貴重な機会と考えていますので、常に望ましいあり方を模索しながら、開かれた市政を推進します。

健全で効率的な行財政運営

本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続いていますが、人口減少社会においても健全で持続可能な行財政運営を維持し、市民の皆



今後とも、多くの方々の対話と協働によるまちづくりを通して、市政の発展に努めていきたいと考えていますので、格段のご理解とご協力をお願いいたします。

市民と行政がともに歩むまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

市民との協働を推進する

- ①開かれた市政を推進する
 - ・高等教育機関連携推進事業 ……20万円
- ②市民と行政の情報共有化を進める
 - ・広報の充実 ……500万円
 - ★市政ニュース発行経費
- ③男女共同参画社会を築く
 - ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……202万円

多様なコミュニティ活動を活性化

- ①多様なコミュニティ活動を活性化
 - ・まちづくり振興協会補助金 ……2,630万円
 - ・地区まちづくり支援事業 ……778万円

健全で効率的な行財政運営を行う

- ①健全で効率的な行財政運営を行う
 - ★特別職報酬等審議会開催経費 ……37万円
 - ・ふるさとづくり寄付金推進事業 ……1,257万円
 - ★総合計画推進事業(仮称)赤穂未来創造委員会開催経費 ……60万円
 - ★市長選挙 ……2,100万円
 - ▷平成31年1月26日 任期満了
 - ★兵庫県議会議員選挙 ……320万円
 - ▷平成31年6月10日 任期満了
 - ・職員研修 ……118万円



歴史博物館においては、義士シアター更新のため新たな映像を制作するほか、海洋科学館においては、引き続き東備西播定住自立圏共生ビジョンに基づく展示機器等の更新や塩の国の設備を整備いたします。



文化会館については、市民の皆さまの多様なニーズに応え、芸術文化活動の拠点施設として多くの方々にご利用される交流の場となるよう運営に努めます。鑑賞事業としては、松竹大歌舞伎や山形交響楽団コンサートなどを開催するほか、市民参加型事業として、吹奏楽・金管バンドの祭典や能楽ワークショップを実施します。また、ヴァイオリンアンサンブル教室を拡大した弦楽教室の推進や吹奏楽教室の継続実施など、芸術文化活動の振興と奨励を図ります。



なお、文化団体と連携しながら、ふれあいの祭典や市民文化祭、美術展などを開催するほか、児童合唱団、勤労者芸術文化振興事業などの市民活動に対しても引き続き支援を行います。

生涯にわたり夢を育むまち

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

教育環境を整える

- ①幼児・義務教育を充実する
 - ・要・準要保護児童・生徒就学援助費 ……2,514万円
 - ★新入学児童・生徒学用品費入学前支給
 - ★特色ある学校づくり推進事業 ……405万円
 - ・心いきいき推進事業 ……1,303万円
 - ▷不登校児童生徒防止のための総合的対応
 - ★スクールソーシャルワーク推進事業
 - ★運動部活動活性化推進事業(外部指導員派遣) ……25万円
 - ・大規模改造事業 ……4億2,750万円
 - ・3歳児保育施設等整備事業 ……120万円
 - ・給食センター整備事業 ……2,517万円
 - ★施設整備ほか(小規模校給食備品の整備)

②特別支援教育を充実する

- ・特別支援教育推進事業 ……2,150万円
- ・特別支援教育事業 ……2,680万円

③信頼される学校園づくりを進める

- ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……327万円
- ・環境体験事業 ……172万円

④若い力を健全に育成する

- ・青少年健全育成推進事業 ……211万円

生涯学習・スポーツ活動を推進する

- ①生涯学習を充実する
 - ・子育て学習活動推進事業 ……411万円
 - ・公民館活動の充実 ……720万円
 - ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……72万円
 - ・市民会館整備事業 ……1,770万円
- ②スポーツ活動を推進する
 - ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,180万円
 - ★忠臣蔵旗少年剣道大会(第30回記念大会) ……250万円
 - ・赤穂シティマラソン大会開催経費 ……1,700万円
 - ・耐震対策補強事業 ……1億3,906万円

個性ある地域文化を創造する

- ①歴史・伝統文化を継承し活用する
 - ・地域文化財調査事業 ……634万円
 - ・赤穂城跡整備事業 ……3,160万円
 - ★赤穂城跡史跡土地買上事業 ……4,080万円
 - ・海洋科学館整備事業 ……2,330万円
 - ・歴史博物館整備事業 ……860万円
 - ★義士シアター映像制作ほか

②文化芸術活動を推進する

- ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,305万円
- ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……700万円
- ・文化会館整備事業 ……3,132万円

写真で見る予算

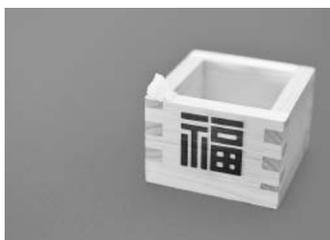
子育て世代包括支援センター運営事業



事業費	290万円
国庫支出金	97万円
県支出金	97万円
一般財源ほか	96万円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供するため、子育て世代包括支援センターを赤穂すこやかセンター内に設置し、妊娠・出産・育児に関する相談・支援体制の充実を図ります。

しおブランド化推進事業



事業費	640万円
国庫支出金	289万円
一般財源ほか	351万円

「赤穂塩」のさらなる知名度向上のため、岐阜県大垣市とコラボした新しい枴を開発し、塩とともにプロモーションを行うことで、特色ある地方創生の推進を図ります。

第3子いきいき子育て応援事業



事業費	593万円
一般財源ほか	593万円

3人以上の子どもを養育する保護者に、出産祝金並びに小・中学校の入学祝金を支給することにより、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ります。

坂越駅前駐車場・レンタサイクル事業



事業費	457万円
一般財源ほか	457万円

JR坂越駅前の駐車場事業と合わせ、観光で来られた方々が活用できるレンタサイクル事業を開始し、歴史的な街並みを生かした観光振興を推進します。

有年駅周辺地区都市再生整備事業

事業費	2億5,828万円
国庫支出金	2,570万円
市債	2億240万円
一般財源ほか	3,018万円



駅周辺を中心とした居住空間向上と都市機能の充実を図るため、周辺道路築造工事などを引き続き実施し、歴史文化遺産と共生した安全・安心な都市の構築を推進します。

定住支援推進事業

事業費	5,120万円
一般財源ほか	5,120万円



新婚世帯への家賃助成や転入世帯・若者世帯への住宅取得支援を継続するとともに、お試し暮らし住宅事業や移住体験バスツアーも引き続き実施し、さらなる定住促進に取り組みます。

空家等対策事業

事業費	1,457万円
国庫支出金	300万円
県支出金	525万円
一般財源ほか	632万円



赤穂市空家等対策計画に基づき、危険な空き家等の解消による安全で安心なまちづくりに加え、空き家を住宅、事務所又は地域交流拠点として活用する方々へ改修費の支援を行うなど、総合的な空き家等対策を推進します。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。